



門へ13
3721
巻



御所櫻梅松録第四編 叙

唐土の上陽夫人の梅を愛し梅姫の名あり我皇朝成化の中

納言の櫻を愛し七櫻町の名ありも蝶々を結ぶ花は色香み染まら成

有彼菅原の是善卿が八重梅の花は色香み染らば御意綴る曲子の

トハ時代相違のツガモ袖へ飛ぶ附會の當推量并も菅公の御母を伴

トハ時代相違のツガモ袖へ飛ぶ附會の當推量并も菅公の御母を伴







